

千葉県護国神社 秋の大祭

ご奉仕

千葉県隊友会が毎年2回(春季・秋季)大祭時に実施している千葉県護国神社に対する奉仕活動は、今回、10月8日(土)に清掃奉仕、10月10日(月)に車両統制奉仕を行った。

清掃奉仕は、3連休の初日、山田正二顧問、河野会長、安達・小淵各副会長、川村館山・古田千葉中央・鬼島八街・若梅山武東金各支部長、精山事務局長、小渡監事役、河西・金子・三浦各理事役を含め、山武東金・沼南・千葉中央・船橋・木更津・八街・千葉美浜・松戸・市川・習志野・鎌ヶ谷・野田・流山・千葉稲毛・館山各支部から総勢35名(初参加3名)が参加した。また、千葉県郷友会からも鈴木純夫会長、臼井久美子会員(元防衛庁長官夫人)など総勢10名が参加された。今にも降り出しそうな秋雨を気にしながら、作業は、早めに到着した会員により7時半頃から開始され、途中ティータイムを挟んで11時半まで境内裏側を含む全域を実施し、ごみ袋50個を超える成果を得た。ティータイムでは、お茶と神社から差し入れのお菓子を囲み、宮澤欄宜(ねぎ)からお礼の言葉を頂いた。また両会長、各支部代表の方々から、自己紹介及び奉仕活動に対する思いなどが述べられ、相互の親睦が図られた。

車両統制奉仕は、櫻井千葉稲毛・永井市川・鬼島八街各支部長、本間監事役及び柏谷・河西・三浦各理事役を含め千葉美浜、沼南、木更津及び八街の各支部員、総勢11名が参加。これまでは、10時から開始される式典に合わせて千葉県内からご遺族及び関係者が借上りバス、タクシー、自家用車等で移動されていたが、今回は、遠方からの早朝移動が負担となっていたことを考慮し、式典のご遺族等の参拝を必ずしも合わせることにせず、参拝時間を延長しての実施となった。千葉県隊友会は、車両及び歩行者の誘導に当たり、式典の要領が変更になったことから例年ほどの車両混雑はなかったものの無事に任務を終えた。作業終了後、御神酒を頂き、自己紹介、竹中宮司を囲んでの写真撮影を行った。次回、平成29年春季大祭も皆さまの御奉仕を宜しくお願いします。

【千葉県護国神社担当理事役 三浦 洋】



境内の清掃



休憩時間に自己紹介、懇談

平成28年度自衛隊記念日観閲式を見学

10月23日(日)、陸自朝霞訓練場で27個部隊、人員約4千名、航空機約50機、車両約280両が参加して行われた。観閲官 自衛隊最高指揮官 安倍晋三内閣総理大臣は、訓示で「3年前、この場で諸君に、真に『国民のための自衛隊』だと述べた。諸君は、この素晴らしい理念を實踐し、災害派遣では、危険も顧みず、夜を徹して、懸命の捜索・救助活動にあたり、被災者の不安な心に寄り添いながら、生活支援に全力を尽くすなど国民から感謝され、世界では積極的平和主義の旗のもと、国連PKOなどに参加し、危険の伴う、自衛隊にしかできない責務を立派に果たし、また、平素はレーザーサイトでの警戒監視、スクランブル発進、イージス艦による弾道ミサイル監視、ファスト・フォースによる即応態勢の維持などに任じ、我が国の平和と独立を守っている。今、国民から揺るぎない信頼を勝ち得た、諸君たちを、私は、本当に誇りに思う。」と述べられ、我々OBにとっても勇気づけられる言葉を貰った。続く、表敬式では、第101不発弾処理隊(那覇)、護衛艦こんごう、警戒航空隊(浜松)が特別表彰された。



その後、観閲行進、観閲飛行、空挺団による自由降下展示、米陸軍ストライカー旅団祝賀行進、米海兵隊オスプレイ祝賀飛行、ブルーインパルス展示飛行などが行われ、式場内に歓声が上がった。

事務局からの連絡事項
 ◇熊本地震被災会員に見舞金を贈呈
 皆様からお預かりした義援金は、隊友会本部に送金しましたが、その中からこの度、被災会員に見舞金が贈呈されました。
 ◎半壊被災会員 147名(見舞金2万円)
 ◎全壊被災会員 41名(見舞金5万円)
 ◇平成28年度後期支部長等会議の予定
 平成29年3月2日(木) 13時30分~17時 千葉市民会館(千葉市中央区要町1-1 電話043-224-2431)
 ◇松戸駐屯地開設記念日 11月26日(土) 松戸駐屯地 10時
 ◇空挺団降下訓練始め 平成29年1月8日(日) 習志野演習場 8時30分開門



安倍内閣総理大臣 観閲部隊を巡閲

【事務所 開所時間】
 月・火・水・金曜日
 1000~1500 山田理事役

隊友千葉だより

平成28年11月号(No.46) 千葉県隊友会事務局



〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
 電子メール chibatayuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibatayuu.com/

会勢拡大施策

下志津駐屯地司令、各部隊最先任上級曹長、主要幹部と意見交換会を実施

隊友会は、かねてより会勢拡大のため、各部隊に隊友会の意義・現状などを説明し、隊員の理解を得て、一人でも多くの入会者を獲得すべく努力している。この度、藤田浩和高射学校長兼ねて下志津駐屯地司令の配慮で、県隊友会会員と高射学校副校長、各部室長・隊長、各部隊中隊長、各部隊最先任上級曹長との意見交換会が実現した。

10月5日(水)、16時から、高射学校部室長、最先任上級曹長等に参集して頂き、河野県会長挨拶に続き、各参加者の自己紹介後、駐屯地最先任上級曹長の中村准尉から下志津駐屯地の概要についてフリーフィングを受け、駐屯地の歴史、所属部隊の状況などについて理解を深めた。続いて、駐屯地各部隊の最先任上級曹長24名に大根正雄下志津駐屯地担当理事役が千葉県隊友会の現況・活動状況に関するフリーフィングを実施し、相互の理解を深めた。その後、県会長、副会長、理事役、近隣各支

部長で学校長を表敬訪問、17時半から隊内クラブに場を移し、県隊友会から河野会長、入江副会長、中尾四街道・櫻井千葉稲毛・佐藤千葉若葉・朝日成田・若梅山武東金各支部長、支部会員、今回、高射学校最先任上級曹長で退職後、県理事役になった富田聖一理事役以下県理事役6名、計18名、自衛隊側から藤田校長、副校長、部室長、隊長、中隊長、最先任上級曹長など、計21名、総勢39名が参加して和やかな意見交換会第2部を行い、更に相互理解を深めた。縮められた挨拶で駐屯地最先任上級曹長の中村准尉から「自身も来年度年退官を迎えるので即入会する」という言葉があり、拍手喝采で大盛会の中、終宴となった。

今回の訪問で会勢拡大にあたって入会者を増やすためには、隊友会の存在と活動をまず現役隊員に知ってもらうことがスタートであり、その重要性を改めて認識した。今回、各部隊最先任上級曹長、主要幹部と膝を交え



駐屯地と隊友会現況等を相互にフリーフィング



意見交換会 親睦を深める

平成28年度自衛隊殉職隊員 千葉県追悼式に参列

陸自高射学校長兼下志津駐屯地司令 藤田浩和陸将補は、10月30日(日) 11時から下志津駐屯地内「鎮の庭」において平成28年度自衛隊殉職隊員千葉県追悼式を執行し、本年度、新たに1柱を加えた県殉職隊員49柱の御霊を慰霊した。式には現役隊員の他、石井善幸遺族会会長以下ご遺族21名、千葉県知事代理高橋渡副知事以下、秋本真利衆議院議員、小林鷹之防衛大臣政務官・衆議院議員、蘭浦健太郎衆議院議員、奥野総一郎衆議院議員、田嶋要衆議院議員、国会議員代理、県議・市議会議員、在葉部隊指揮官、最先任上級曹長、先任伍長、防衛装備庁陸上装備研究所、北関東防衛局、千葉県自衛隊父兄会、千葉県自衛隊協力会連合会、千葉県自衛隊援護協力会、下総水交會、千葉県郷友会、千葉県偕行会、千葉県隊友会等107名、総計128名が参列した。県隊友会から河野会長・支部長・支部長代理・理事役計26名が参列、殉職隊員を悼み、現役隊員の海外任務、災害派遣及び教育訓練における無事の任務遂行をお祈りし、一人一人、献花した。続く追悼会食では、渡邊剛次郎海自教育航空集団司令官、田嶋要衆議院議員、河野県隊友会長の挨拶の後、殉職隊員を偲びつつ、ご遺族と懇談した。



殉職隊員に対し捧げ銃 黙祷



藤田下志津駐屯地司令追悼の辞



儀仗隊 弔銃



追悼会食 会長挨拶

平成28年度関東甲信越静ブロック研修会に参加

9月27日(火)・28日(水)の両日、栃木県隊友会主催のブロック研修会に河野県会長が参加した。前段の会議は、宇都宮市内ホテル会議室において、本部執行役、地域担当執行役、奥村栃木地方協力本部長及び各都県隊友会長等が参加し、隊友会の設立目的である「自衛隊と国民の架け橋を強化するための方策(特に国民側の橋の強化)」について各都県が発表・討議した。その後、東方人事部長、横監援護課長及び中空援護課長から各自衛隊の現況などの説明を受けた。続く意見交換会は、会議参加者に加え、船田衆議院議員、鈴木栃木県副知事、佐藤宇都宮市長、青木栃木県防衛協会会長、森山陸自東部方面総監、清田第12旅団長(元第1ヘリ団長)、内山宇都宮駐屯地司令、深草中央即応連隊長、佐々木北宇都宮駐屯地司令を来賓に迎え実施された。来賓代表として森山東方総監の挨拶があり、北朝鮮や中国をめぐる厳しい国際情勢、熊本地震への自衛隊の対応、平和安全保障法制を踏まえた訓練、働き方改革への自衛隊の対応などに言及された。後段の部隊研修は、近傍の北宇都宮駐屯地及び宇都宮駐屯地の協力を得て実施された。北宇都宮駐屯地では、陸自航空学校宇都宮分校でTH480教育用ヘリコプターのシミュレーター体験搭乗等を行った。宇都宮駐屯地では、内山駐屯地司令の挨拶の後、深草中央即応連隊長の防衛講話を聞いた。中央即応連隊長は平成20年3月に約800名で発足。現在1個中隊が派遣海賊対処部隊(基地警備)としてジブチ共和国に派遣されている。海外派遣等新たな任務が付与されると先遣隊として派遣される部隊である。国際平和協力業務、海賊対処、在外邦人保護等の業務に常に何らかのかたちでかかわっているなど説明があった。

平成28年9・10月入会者

- 祝入会【敬称略・順不同】
入会感謝・隊友会の発展にご協力を
- 【白井】 永野 博幸
 - 【市川】 宗岡 仁
 - 【八千代】 高野 洋
 - 【船橋】 鈴木 良
 - 【松戸】 秋山 雅彦
 - 【千葉緑】 小田嶋 正広
 - 【瑞宝重光章】 伊藤 康成(事)
 - 【瑞宝中綬章】 相田 哲彦(空)
 - 【瑞宝小綬章】 井本 敏夫(陸)
 - 【千葉稲毛】 越智 道隆(空)
 - 【松戸】 菅谷 敏彦(陸)
 - 【山武東金】 樋口 善治(海)
 - 【茂原】 水谷 貞雄(海)
 - 【瑞宝双光章】 河津 和也(陸)
 - 【野田】 倉持 光雄(陸)
 - 【沼南】 原 裕昭(海)
 - 【安房】 平本 勝秋(空)
 - 【佐倉】 吉澤 清文(陸)

平成28年秋の叙勲受章 おめでとございます。

【敬称略・順不同】

◇瑞宝重光章
尾張 元信(陸)
印西 篠原 利雄(海)
香取 高根 修(陸)
船橋 宮原 孝之(陸)

下志津駐屯地殉職隊員追悼式場「鎮の庭」を整備

県隊友会は、10月11日(火)、8時半から16時まで、四街道7名、千葉若葉6名、木更津・八街・船橋各2名、市原・佐倉・千葉美浜・千葉稲毛・茂原各1名、県本部役員6名の総勢30名をもって、自衛隊殉職隊員千葉県追悼式会場である「鎮の庭」の樹木剪定・伐採などを行い、10月30日(日)に同場所で行われる平成28年度自衛隊殉職隊員千葉県追悼式の整齊たる実施の一助とした。

作業は、四街道支部の後藤正幸副支部長から安全管理上の注意事項、特にすずめ蜂が植込みに巣を作っている可能性があるため事前竹竿で揺らして確認することなどの注意事項を聞いた後(実際、作業前、すずめ蜂の巣を発見、事なきを得た)、造園士である今泉昭雄・松浦宏・窪洋之右会員の指導を受けつつ、涼しい天候にも恵まれ、順調に進み、慰霊碑を中心とした、つつじなどの刈込み、樹木の枝落とし、周辺の雑木伐採などを行い、追悼式会場の体裁を整えた。

休憩時間などを活用して、今泉会員から剪定ばさみ・器具の取扱要領、安全管理(脚立は、必ず樹木に固定、危険な作業は午前中に、



支援作業参加者(作業を終えて)



休憩

樹木枝落とし

作業組分け、注意事項伝達

会食、自己紹介、司令挨拶

枯れ枝、雑木伐採、集積

つつじの刈込み